

平成 22 年度市政モニター 第 2 回アンケート結果

テーマ 「高齢化社会における市民と市の役割分担」

健康福祉部高齢者支援課

八王子市総合政策部広聴広報室

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ	
【高齢化社会における市民と市の役割分担】	
問1 高齢者の方の相談先	3
問2 「地域包括支援センター」の認知度について	3
問3-1 「地域包括支援センター」の利用度について	4
問3-2 「問3-1で「地域包括支援センターを利用したことがある」と お答えの方に 利用目的について	4
問4 「地域包括支援センター」への希望について	5
問5-1 「地域包括支援センター」(市内12か所)の設置数について	5
問5-2 問5-1で「地域包括支援センターの数をもっと多いほうがよい」 との回答者に 「地域包括支援センター」の必要数について	6
問6 「福祉電話」の認知度について	6
問7 「福祉電話」を勧めたいかどうかについて	7
問8 「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」の認知度について	10
問9 「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」の申請について	10
問10 「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」について	11
問11 高齢者の相談窓口のあり方について	15

《 市政モニターの属性 》

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		36	36	58	51	94	87
性別	男性	11	11	31	27	42	38
	女性	25	25	27	24	52	49
年代	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	0	0	7	5	7	5
	30歳代	13	13	17	15	30	28
	40歳代	5	5	7	7	12	12
	50歳代	5	5	5	4	10	9
	60歳代	9	9	20	18	29	27
	70歳代	3	3	2	2	5	5
	80歳代	1	1	0	0	1	1
地区	中央 (本庁地区)	7	7	13	11	20	18
	西南部 (浅川・横山・館地区)	8	8	13	10	21	18
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	5	5	15	14	20	19
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	6	6	5	4	11	10
	東南部 (由井・北野地区)	6	6	10	10	16	16
	北部 (加住・石川地区)	4	4	2	2	6	6

※ アンケート実施期間:平成22年9月3日から平成22年9月17日まで

※ 回収率: 92.6%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

テーマ 「高齢者社会における市民と市の役割分担」

健康福祉部高齢者支援課

現在、本市の高齢化率は、20.65%（平成22年7月末現在）となっており、市民の5人に1人は高齢者となっています。また、平成26年度には、高齢化率が24.3%に達することが見込まれています。高齢化の急速な進展に伴い、市政世論調査でも、平成18年度以降、毎年、高齢者施策に対する市民の方の関心が高い結果となっています。

本市では、高齢者が住みなれた地域で、生きがいをもって安心して生き生きと暮らせるまちづくりを目指して、各種のサービスを実施しています。今回のアンケートは今後、本市が実施する各種サービスの取組みを進めていくうえでの基礎資料とするものです。

【説明資料】

◎ 地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるように、必要な援助、支援を行うために設置している身近な相談窓口です。介護・福祉・医療の専門職員が配置され、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的マネジメント、介護予防マネジメントの4つの業務を行っています。お住まいの地区によって担当が分かれており、八王子市内には12か所設置されています。

◎ 福祉電話

平成22年度予算額 約450万円 利用者204人（平成22年6月末現在）

65歳以上のひとり暮らし世帯または全員が65歳以上の世帯で、親族等の訪問が途絶えがち等の方に対して、24時間可能な電話相談等、孤独感の解消を図るために、電話相談員が電話による声の訪問をします。また、緊急事態が発生した場合に、登録してある親族等にボタンひとつで通報ができる「あんしん電話」の設置も行っています。

◎ 紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付

平成22年度予算額 約1億600万円 利用者2,993人（平成22年6月末現在）

介護保険の要介護1以上の認定を受けた65歳以上の方を在宅で介護している家庭において、衛生の確保と経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ等を月1回配達しています。カタログから希望の商品を選び、購入限度額は1か月あたり4,000円（消費税別）で2割の自己負担（800円＋消費税）となります。購入限度額を超えて購入した場合の超過分は全額自己負担となります。

問1 あなたは、高齢者の方の相談ごとが生じた場合、どこに相談しようと思いますか。

(○はいくつでも)

(n=87)

	構成比(%)
家族	74.7
友人・知人	35.6
ケアマネージャー ※1	34.5
地域包括支援センター	46.0
高齢者支援課(市役所本庁舎)	47.1
保健所(旭町)	9.2
保健センター(平岡町)	8.0
医療機関	40.2
介護事業者	16.1
その他	6.9

※ 1 ケアマネージャー(介護支援専門員)とは、介護保険の要介護と認定された人が、適切な介護サービスを受けられるようにするために、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成する専門職のことです。

【その他】

1. 民生委員
2. そのときにならないと分からない。
3. どこに相談したらよいか分からない
4. 相談の内容によってどこに相談したらよいか分かりません。
5. よく分からないので、とりあえず市役所
6. 居住マンション管理組合

高齢者の方の相談事が生じた場合、どこに相談しようと思うかきいたところ、「家族」と答えた方が7割台半ば(74.7%)と最も多く、次いで「高齢者支援課」(47.1%)「地域包括支援センター」(46.0%)で続いた。

問2 あなたは「地域包括支援センター」についてご存知でしたか。(○は1つだけ)

(n=87)

	構成比(%)
よく知っている	6.9
ある程度知っている	23.0
あまり知らなかった	34.5
「地域包括支援センター」という言葉を初めて聞いた	35.6

「地域包括支援センター」について知っているかどうかきいたところ、「地域包括支援センター」という言葉を初めて聞いたと答えた方が3割台半ば（35.6%）、「あまり知らなかった」と答えた方が3割台半ば（34.5%）であった。

問3-1 あなたは「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

(n=87)

	構成比(%)
ある	10.3
ない	89.7

「地域包括支援センター」を利用したことがあるかきいたところ、「ない」と答えた方がほぼ9割（89.7%）、「ある」と答えた方がほぼ1割（10.3%）であった。

問3-2 問3-1で「ある」とお答えになった方にお聞きします。どのようなことで、ご利用されましたか。（○はいくつでも）

(n=9)

	構成比(%)
要介護認定の申請(申し込み)	55.6
高齢者の生活全般についての相談	0.0
介護を行うことについての相談	0.0
要支援認定者に対する介護予防ケアプランの作成	22.2
高齢者についての各種の講座等	22.2
(介護保険以外の)高齢者サービスの申し込み	0.0
その他	33.3

【その他】

1. ボランティアの手続き
2. 講演会について問合せした。
3. 母の晩年、93歳で死去、2年間位

「地域包括支援センター」を利用したことがあると答えた方で、どのようなことで利用したのかきいたところ、「要介護認定の申請（申し込み）」と答えた方が5割台半ば（55.6%）であり、次いで「要支援認定者に対する介護予防ケアプランの作成」（22.2%）と「高齢者についての各種の講座等」（22.2%）が続いた。

問4 「地域包括支援センター」にどのようなことを希望しますか。 (○はいくつでも)

(n=87)

	構成比(%)
介護保険制度について教えてほしい	50.6
高齢者の生活全般の相談にのってほしい	62.1
どのような介護サービスが受けられるか教えてほしい	77.0
高齢者についての各種の講座等を開催してほしい	33.3
実際の介護についてアドバイスをしてほしい	55.2
介護者同士が話し合えるような場を設定してほしい	27.6
介護予防教室についての相談にのってほしい	19.5
特に希望しない	1.1
その他	6.9

【その他】

1. どのような機能を持つ機関なのか分からないのでこたえられない。
2. 日常の不安・トラブルの相談。生活全般の相談に近い。コミュニティの崩壊・町会組織では無理。
3. 地域に存在をアピールしてほしい。
4. 地域包括支援センターのことを具体的に知りたい。
5. 本当に親身になって相談にのって欲しい。
6. 高齢者という枠組みで物事を考えるのではなく、あらゆる世代との交流を促すような場や仕組みを作って欲しい。

「地域包括支援センター」にどのようなことを希望するかきいたところ、「どのような介護サービスが受けられるか教えてほしい」と答えた方が8割弱(77.0%)と最も高かった。次いで「高齢者の生活全般の相談にのってほしい」(62.1%)「実際の介護についてアドバイスをしてほしい」(55.2%)「介護保険制度について教えてほしい」(50.6%)と続いた。

問5-1 現在「地域包括支援センター」は市内に12か所設置されていますが、この設置数についてどのように考えますか。 (○は1つだけ)

(n=87)

	構成比(%)
現状のままでよい	19.5
もっと多いほうがよい	26.4
わからない	54.0

「地域包括支援センター」の設置数についてきいたところ、「もっと多いほうがよい」と答えた方が3割弱(26.4%)で「現状のままでよい」と答えた方がほぼ2割(19.5%)を上まわった。

問5-2 問5-1で「2.もっと多いほうがよい」とお答えいただいた方への質問です。地域包括支援センターは、市内にあと何か所程度必要とおもいますか。

(当てはまるものに「○」をつけてください。)

(n=23)

	構成比(%)
1か所	0.0
2か所	4.3
3か所	13.0
4か所	30.4

【その他】

1. 5か所
2. 5か所以上
3. 6か所
4. 8か所
5. 10か所
6. 10か所以上
7. 12か所
8. 16か所
9. 各町会に1か所
10. できれば各町に1か所は欲しい
11. 何か所というよりも遠くて利用できないという人が出ないように各町の近場に設置して欲しい

「地域包括支援センター」の数が「もっと多いほうがよい」と答えた方に市内にあと何か所程度必要と思うか聞いたところ、「4か所」がほぼ3割(30.4%)であった。

問6 あなたは「福祉電話」についてご存知でしたか。

(○は1つだけ)

(n=87)

	構成比(%)
よく知っている	1.1
ある程度知っている	10.3
あまり知らなかった	19.5
「福祉電話」という言葉を初めて聞いた	69.0

「福祉電話」についてご存知でしたかときいたところ「福祉電話という言葉を初めて聞いた」と答えた方がほぼ7割(69%)と最も多かった。

問7 もしも、御家族や知人が「福祉電話」の条件に該当する場合、この制度の利用を勧めてみたいと思いますか。理由も含めてお答えください。 (○は1つだけ)

(n=87)

	構成比(%)
勧めてみたい	81.6
勧めない	4.6
その他	12.6
無回答	1.1

【勧めてみたいを選んだ理由】

1. 福祉に関する具体的アドバイスを行政の立場からしてほしいから。
2. 困った時にとっても役に立つ仕組みだと思うので。
3. 有益
4. 自分自身が転勤族であり、いつも家族のそばにいられるとは限らないためこのようなサービスは有り難いと思い、対象となれば、福祉電話を利用するように勧めたい。
5. 一人でどうしようもない時手助けになる。
6. 福祉電話は必要不可欠と思っている。
7. 制度としてあるのだから、条件に該当するようなら積極的に利用していきたい。
8. 使えるものは使ってみるべき。
9. 初めて聞いた言葉なので何とも言えないが、相談に乗ってくれそうな電話である為。
10. 少しでも安心をふやしたい。
11. 身寄りがいる場合は安否の確認や話し相手にはなれるが、行政的なアドバイスや医療的な相談にはのれないので、専門相談員が直接話していただいて適切なアドバイスを受けられるなら、ぜひ活用してほしいと思う。
12. 今はまだ必要ではありませんが、この先、家族、知人が孤独のために心の病気になったら心配ですので、私は「福祉電話」を勧めたい。
13. 1人で悩まずに、まず誰かに相談するのが良いが、それが出来ない場合は利用を勧めてみたい。不安が解消されるはず。
14. 使用率は低いかもしれませんが、もしもの時に命が助かる事が出来る。
15. 利用できるものは何でも活用したいので
16. 利用できるものは利用したいから。
17. あっさりと勧めてみたい。個人の尊厳を尊重したいし、可能であれば自分の方が「福祉電話」的なことを努めたいと思う。
18. どんな対応をしてもらえるかわからないが、一人で悩むお年寄りを減らすため。ただ自分の親や親族には出来るだけ自分で対処してやりたいと思う。
19. 孤独死や孤独から起る問題など防ぐため。
20. 今日「絆」が問われ、孤独死が問題視されて、緊急時にはSOSが発信される確率が高い。
21. 福祉のこと等、自分では解決できないことは抱え込まず、できるだけ専門家に相談した方が解決の糸口が見つかりやすいと思うから。

22. 24時間連絡できるのは便利だから
23. 一人暮らしの高齢者は一日中、誰とも会話することがないという事も珍しくないと思う。自分の事を気に掛けてくれる人がいるという安心感を得るのに、この制度の意味はとても大きいと思う。
24. 条件に該当するという事は、生活する上で誰かの手助けが必要ということと考えるので、サポートの一つとして知っておくことは大切だと思うから。
25. 安心出来るから。
26. 高齢者対策の社会化の基本的事業の一つであり、積極的に利用したいと考える。
27. 日常の健康状態や生活状況の安否を確認出来て不安が解消できそうだから。
28. 孤独感から痴呆や病気を進行させる場合もあるため、他人とつながることで気力を維持していくことは有効的だと思う。
29. 高齢者が緊急かどうかは別にして、一人のときに発生している状況を周囲に伝える手段として必要。
30. 今は、必要ないが、今後、ひとりになって認知症になった場合は、話をすると思う。
31. 市が実施しているサービスなら信頼できるから
32. 福祉電話のあることを知っていたら、皆（人に）勧めらると思うので、もっと広く知らせてほしい。
33. 福祉電話の存在を知れば、利用したいと思う人が居るのではないかなと思う
34. 家族だけで考えないで、第三者の考えを聞いて広い視野になれるから。
35. 田舎の義母は一人暮らしなので、万が一の場合があると安心である。
36. 独り暮らしの友が居るから
37. お年寄りにとって、PCとか利用は大変で、情報を知りたいと思うから。
38. 高齢の方は相談したくてもどこに連絡すればよいのか分からない方が多いと思う。相談窓口があり、相談できる方法を知っているだけでも気持ちが楽になると思う。
39. 電話に限らず、老人で話好きは、家族には心に波風たてるものだから。他人（相談員）になれば、少しは遠慮して、理不尽な事を言わないだろうから。
40. 今は市内に一人暮らしの高齢者の家族がいないのだが、もしいたら勧めてみたい。有料でもそういうシステムはがあると安心だと思う。
41. 24時間可能な電話相談や、緊急事態が発生した場合に、登録してある親族等にボタンひとつで通報できる「あんしん電話」の設置も行っているとの事で何かあったときに連絡つくので安心できる為。
42. 一人暮らしの老人などの安否が把握しやすい。
43. 便利なシステムだと思う。しかし高齢者はとかく機械ものは苦手なので疑問も残る。心細い時や何かなくても孤独にならないように話し相手のような存在のような使い方ならばよいと思う。
44. もしもの時に役立つのでは。
45. 遠いところに家族が住んでいると緊急時等すぐに対処できないから。
46. 声の訪問、緊急事態の発生に役立つ
47. だれでもいいから自分の事を気に掛けてくれる人がいれば人は少しはうれしいと思うし、家族も少し安心だから

48. 良い事だと思うが、それ以上に困った事がないか、等の把握の為、直接自宅を訪問することが1番大切だと思う。
49. 良い制度だと思うから。
50. 今回初めてこのような便利な制度があることを知りました。
51. 条件に該当する場合は積極的に勧めたい。

【勧めないを選んだ理由】

1. 多少の認知があり、一人で電話をすることが無理な為。
2. 利用者が現時点で 204 人しかいないということは、あまりあてにならない電話のような気がするから。
3. 福祉電話は心の支えになると思うが、いざ家族や知人など近親者に勧めるとなると自分の責任を放棄しているような罪悪感を感じてしまうため。
4. 電話代がかかる。

【その他を選んだ理由】

1. 電話だけの対応では、真に高齢者の悩みはわからないように思う。
2. 介護サービスとの連携ができていけばすすめて。
3. 内容を知ってから対応したい。
4. 福祉電話がどのようなものかわからないのに、人に勧める事は出来ない。
5. わからない
6. 基本的には、勧めたいが、現段階では電話の実際内容を知らないので迷う。勧めたい理由は、孤独感の解消ができるため、福祉サービスなどの情報を得られるため。電話をかける方のマナーなども気をつけたいが、電話を受けるかたの対応や内容によっては勧められないとも思っている。※出産・幼児期の育児の際の経験からこのように書いている。
7. 福祉電話の内容を知らない。
8. もし自分が条件に該当するようになっても相手の顔が見えないと安心できない。
9. 当人が気に入るサービスであれば受けてもらいたい。
10. 福祉電話のことがわからないので何とも言えない。
11. 福祉電話なるものを知らないので答えられません。

もしも、御家族や知人が「福祉電話」の条件に該当する場合、この制度の利用を勧めてみたいと思いますかときいたところ「勧めてみたい」と答えた方がほぼ8割（81.6%）と最も多かった。

問8 あなたは「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」についてご存知でしたか。

(○は1つだけ)

(n=87)

	構成比(%)
よく知っている	9.2
ある程度知っている	31.0
あまり知らなかった	33.3
「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」という言葉を初めて聞いた	26.4

「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」についてご存知でしたかときいたところ「よく知っている」(9.2%)「ある程度知っている」(31.0%)を合わせた“知っている”がほぼ4割(40.2%)に対し、「あまり知らなかった」(33.3%)「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」という言葉を初めて聞いた”(26.4%)を合わせた”知らない“はほぼ6割(59.7%)であった。

問9 「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」は『要介護1以上に認定された65歳以上の在宅生活者』が申請できると規定されています。このことについてどう思いますか。

(○はいくつでも)

(n=87)

	構成比(%)
現在のままでよい	34.5
要介護1以上に認定されていたら、年齢にかかわらず対象にしてほしい	52.9
この給付事業に当てられている費用を、もっと別の施策に使ってほしい	2.3
その他	10.3

「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」は『要介護1以上に認定された65歳以上の在宅生活者』が申請できると規定されていることについてどう思うかきいたところ「要介護1以上に認定されていたら、年齢にかかわらず対象にしてほしい」と答えた方が5割強(52.9%)であった。次いで「現在のままでよい」が3割台半ば(34.5%)であった。

【その他】

1. 既に実施されているのであれば、所得制限等があるのか知りたい。このサービスが八王子市民へ平等に行われるために担保されるのは何かを知りたい。サービスが偏った一部の人のみであれば問題と思われる。
2. 要介護2以上でなくていいのか、専門的な見地がないので。
3. 要介護1以上という基準に関わらず、希望者にはできるだけ給付をして欲しい。
4. 介護度によって限度額を細かく設定するほうが良いと思う。
5. 心情的には増やしたいが、世間が不況なので難しいと思う。
6. 要介護1以上というのは、どの程度の介護を必要とされている方なのかわかりません。
7. 要介護1というものがわからない。
8. 要介護1の状態がどういう状態なのかわからないのですが、年齢で区切るのは・・・とおもいました。

問 10 「紙おむつ、おむつカバー、おむつ袋の給付」についてあなたのご意見をお書きください。

1. 現状サービス以下にはしないようお願いしたい。
2. このまま必要な人に対して実施を続けてほしい。
3. 良いと思う。
4. 介護認定されていなくても一律必要な人に補助されることが望ましいと思う。
5. 1億 600 万円もこれに使っているのであれば、高齢者宅の訪問等、もっと他に使ってほしい。
6. ときどきゴミの日に出しているのを見かけるが、市からの補助があるのを初めて知った。補助があるのはよい事だと思った。
7. 要介護1と要介護5で紙パンツの消費量は異なるはずで、経済的負担を軽減するためというのであれば、介護度に応じた限度額や負担額の設定をしたほうが良いと思う。
8. まだ必要な状況ではないのでピンとこないが、ありがたい制度だと思う。
9. ありがたい制度
10. 行政サービスをどんなことをどのくらい行うかの問題のひとつである。サービスを受けてる人は歓迎？と思うが。
11. 介護者の負担を考えれば、今の内容を継続すべきだと思う。
12. 重度の介護の場合、支給分ではおそらく足りない。その分の負担の方法についてももう少し検討する余地があるのではないか。
13. これからどんどん高齢化が進むにつれ、要介護者も増加するものと思われる。一方、若年性痴呆症等も増加しており、若年者でもその場合は就労出来なくなってくるかと思う。それゆえ、年齢による区分は難しくなってくるのではないか。従って、要介護認定を受けた場合、年齢に関係なく対象とした方が良いと思う。予算の問題もあろうかと思うが。
14. 自分の周りに該当者がいない為、良く理解出来ていなく考えても見なかった。
15. 必要な人には給付されるのが良い。
16. 給付条件、例えば所得制限などについての情報を広報などに載せて欲しい。
17. 所得により介護2でも給付するべきだと思う。
18. 今まで全く知らなかったもので、給付があるだけでも嬉しいと思った。

19. 市販のものは高額で、使用者にかなり経済的に負担になるので、ありがたい。
20. 年齢制限はしないでほしい。高齢だけでなく若くても介護状態になる方もいる。
21. 上記の給付は、給付を受けている人にとっては、大変助かること。毎日のように使用するものであり、金額的にみても800円の自己負担で利用することができるので大変良いと思う。
22. 利用したことがないのでコメントしにくい。
23. なにゆえ65歳以上対象なのか？65歳未満でも、必要な人がいるはず。こういうことにこそ、税金を使うべきと思う。
24. 毎日使用するものなので介護している家庭では助かると思う。
25. 情報をもっとしらせてほしい。
26. 意見は特にない。現在のままでよいと思う。
27. 私は現在、生後8か月の子どもの育児中だが、紙おむつの出費はバカにならない。しかし、人間の生活においては必需品であり家計の出費として削れない部分なので、市で補助して支給していただけるのは介護者としても大きな負担軽減につながると思う。
28. 誰もが好きで病気、高齢になる訳ではないので、健康である方は、自分の健康に感謝をして在宅で介護されている方の少しでも負担を楽にしていってあげられたらいいと思う。給付に賛成。
29. 利用者にとっては大変便利で気持ちよく精神的・経済的にも非常に助かる制度と思う。今後ともぜひ長く続けてほしい。
30. もっと存在そのものをピーアールしてください。
31. 本当に必要であれば給付する事は良いのだが、2割の自己負担のため、給付して貰うという行為はどうかと思う。
32. 紙おむつ、おむつ袋の給付はあっても良いが、おむつカバーについては要らないと思う。乳幼児にいたっては、おむつ袋しか給付されていないのに高齢者だからと言って優遇されるのはおかしい。
33. おむつ代はかさむので今後も支援を続けていただきたい。
34. 紙おむつをすると、とたんに認知症が進む、とよく巷で言われている。おむつが必要な方にはその支援をすることも、できたらおむつ無しになるような別の角度の支援もあっていいと思う。どちらかがあればいい、という発想でなく、どちらもあるサービスという意味です。
35. 非常にありがたい制度だと思うが、「要介護1(部分的な介護を要する状態)排泄や食事はほとんど自分ひとりでする。」で、これらを使ったら、本人は安心して要介護度が増さないのかと心配です。専門家が考えた結論でしょうから、素人がとやかく言うことではないでしょう。これを始めた経緯が知りたい。
36. 購入限度額のUP
37. 現在1歳のおむつ使用の息子がいて、おむつへの金銭的負担を感じている。そんな中でもおむつ袋は無料給付されているため、とても助かっている。なので、65歳以上に関わらず、要介護者の方全員を対象にしていただければと思う。
38. 紙おむつは高価なので、給付が受けられればありがたいとは思っている。
39. 約1億600万で利用者が2,993人とある。何だか驚き。もっとコストダウンして多くの人に給付が受けられるように出来ないものか？

40. 私は手術後に退院するとき1回使用しただけだが、高齢者にとっていくらあっても足りないのが紙おむつ・おむつカバー・おむつ袋と認識している。家庭の収入(年収制限)を考慮して一部あるいは全額給付を検討してほしい。
41. 必要な方にとっては非常にありがたいと思う。
42. 紙おむつの出費は、家庭にとってなかなかの負担で(介護のため、収入が得づらいことも含めて。)精神的負担もあるので、給付がある負担がやわらぎ助かると思う。年齢を問わずフォローしていただきたい。予算の限界もあるとは思いますが…。事務的な給付でなく、心のこもったメッセージをつけるなど、精神的なフォローも色々な意味で効果的では…?
43. 現在、経済的不況期にあり、どの家庭も大変苦しい家計状況にあるので、できるだけ中間所得層まで給付の幅が広がるよう、予算枠を確保して欲しい。
44. 介護するにあたって必要なものであるため、良い制度だと思う
45. かさばる紙おむつ等を配達してもらえるサービスは介護者にとって、身体的にも経済的にも大変助かるものだと思う。ただ、要介護3ぐらいからでも良いのでは、との印象を受ける。
46. おむつ袋の給付はあるととっても助かると思う。ぜひこのまま続けてほしいと思う。紙おむつは、利用者も2割の負担があるので、ちょうど良いと思う。ただこのまま高齢化が進んで、利用者が増えたときのことを考えると、さらに若者や商業施設の誘致などで、財源を確保できるようなしくみがあるとより住み良い市になると思う。
47. 必要なことだし、少しでも負担を軽減できるよう、手厚くしてほしい。
48. 良い制度であるので推進して欲しい。
49. このサービスを受けている方は、プライバシーを気にしつつも現実的には大いに助かっていると思う。今後財政事情もあると思うが、給付条件 の緩和(年齢制限、自己負担率)を検討してほしいと思う。
50. 私の認識不足かも知れないが、約3000人に月1度支給しているようだが月4度に増やし保管をしやすくして衛生面での管理も必要と思う。またこのような制度を知らない高齢者も多いと思う。待っている高齢者に早く支給の手助けをしてあげられないものですか。
51. 給付条件について内容を理解していないが、介護者が高収入でない限り年齢に関係なく給付すべきではないか。
52. 対象者の様子を確認する意味も兼ねての配達なら、月2回程訪問しても良いと思う。
53. これらのものを必要とする要介護者の経済的負担は大きく日常生活における経済的安定を失いかねない。
54. 紙おむつ等の配達、自己負担の軽減はありがたいと思う。
55. 大人用のおむつは、大きさもおおきいので値段が張るときいた。必要な方への支援は必要だが、配達が必要でなく、家族の方が買いにいける場合もあるので、無駄な経費になると思う。なので、配達を希望されない人には、その代金を口座に振り込むなどの選択性があってもいいのではないかと思った。
56. これだけ行き届いていれば充分と思う。
57. 紙おむつを使用しなければなくなると、その費用は負担になるので、給付があるとありがたいと思う。
58. 紙おむつは高価であるので年金で利用は経済負担が多いと思うので援助をする必要性は多いにあると思う。

59. 排泄は皆平等にあるものなので、65歳以上の方で必要な方には(枚数の制限はある程度仕方ないが)給付すべきではないか、と思う。
60. とくになし。利用していないのでわからない。
61. 現在のままでよいと思う。1億600万円も使っているので良いと思う。
62. よくわからない。
63. 父が利用したが市の給付で金額的にとても助かった。種類を選ばなければ800円ですむのでとても助かる。配達の方も親切でダンボールは持って行ってくれ、オムツ袋も一緒に持って来てくれるのでとても助かった。
64. 給付条件は良いと思う。おむつ袋は毎月届ける必要があるものなのか？
65. 年齢制限はもう少し低くても良いかと思う。せめて、60歳以上にしてはどうだろうか。65歳以上ひとり暮らしか全員65歳以上とあるが、若い同居者がいても仕事なので、ままならない場合も多く、その制限もとってほしい。
66. 紙おむつ、カバーも給付されている事は知らなかった。利用する方にとっては、金額面だけでなく、買いに行く手間が減り助かると思う。かさばる物なので持ち運びするのも大変な分家族の方の負担軽減になっていると思う。予算の金額についてよく分からないが、例えば、時々「おむつ袋等足りていますか？反対に使う回数が減った物はないですか」と各家庭に呼びかけをすることで、もしかしたら余分にもらい過ぎている分がありそこを見直してくれるかもしれない。予算の有効な使い方としてこのような働きかけの結果を活用してはどうか。私は地域包括支援センターを名前しか知らなかったので市のネットで見たが、担当地域は町名が並んで書かれただけだったので、地図があると理解しやすいと感じた。気軽に相談できるという点では、家族が足を運びやすいところにミニ窓口を設けるのはどうか。郵便局、スーパーなど。民間の場なので難しいと思うが。急に介護が必要となった場合、調べて市役所に自ら連絡を取り支援を聞く事ができる人はいいが、それをしない人にとっても目に入ると思う。
67. 市の予算で無理なくやりくりできているのであれば仕方のない事だと思う。ただ財源は自分たちの老後まで続けられるのか？財産や所得などの制限はどうなっているのだろうか・・・？
68. おむつ袋(緑の袋ですか？)の給付に際して記入する申込書に名前、住所を書く必要はあるのか？
69. 利用されている方には、とても良い制度だと思う。必要な方がスムーズに申請できるように有効な広報がなされる事を望んでいる。
70. ある程度の支給はあった方がいいと思う。
71. パット型やパンツ型、サイズなど誰がどう申請するのか全くわからない。おむつ袋の給付については知っていた。家の前に出すゴミで、おお、あの方、ついにオムツ・・・とばれてしまうのですね。
72. 大人の紙おむつやカバーは値段が高く、その上、日常的に使うものなので枚数がかかり必要になっていると思う。このような制度はなくてはならないものであると思う。
73. 母が93才で死去する前、2年位利用させてもらった。定期的に配達され、経費的にも優遇され助かった。
74. 生活に密着しており大切だと思うが、一部の人だけに給付だと公平感は正直ないと思う。
75. おむつを捨てるのに無料の袋が各人の玄関に出されているのを見たことがあるが人権の侵害にはならないのだろうか。

76. これらを利用する老人は他にも沢山の介護が必要と思われる。手助けをする側として先のみえない日々では大変有難い物と考える。
77. 実情(個人負担金が妥当なのか足りているのか等)が分からないが、もう少し市の負担金を増額してもよいのかなと思う。
78. 65歳以上ではなく、要介護認定され、申請した人に支給してあげたい。
79. お金がかかると思うので、この給付は助かると思う。
80. 特になし。
81. 私のところでは現在必要ないが必要な状況となれば支給をお願いしたいと思う。
82. 母が利用している。小さなことですが用意したり処分するだけでも大変なことなのでとても助かっている。

問11 高齢者が住みなれた地域で生活を続けるために、地域包括支援センターの設置数や担当地域の見直しなど、気軽に相談できる窓口のあり方を検討しています。このことについて、皆様のご意見をお聞かせください。(自由記述・300字以内)

1. 窓口の存在が十分に周知されていないため、せつかくの窓口が有効活用されているのかが不明。利用率促進したうえで、過不足の判断を。
2. 設置数や担当地域についての記述とのことだが、そもそもセンターの存在の有無やその存在意義をアピールすることが先決。市のホームページの福祉に関するページに出ているか知らないが、ホームページや市報での認知のアピールが先で、認知度を高めてから設置数の改善を考えるべき。私が介護の年齢でなく興味がないからかもしれないが、アピールすることが重要で、かつどんな対応がなされるのかも開示してください。
3. 高齢者の数はこれからもどんどん増加すると思われる。介護が必要な高齢者に目が行きがちであるが、元気な高齢者に生きがいを見つける支援をしたり、市外から転居してきて外部とのかかわりが乏しいケースなどより楽しく長生きするための支援も必要だと思う。
4. 行政側の受身の窓口設置だけでなく、もっと積極的に高齢者宅を実際に訪問する体制等の整備を望みたい。
5. 近所でいろいろの人の助けや公の利用できる補助、週に一度必ず来る息子の助けでうまく地域で生活している人がいる。一方地域に溶け込まず、閉鎖的な家庭はあつという間に行き詰ってしまったようです。包括センターのありかたよりも、それぞれの家庭の暮らし方が高齢者になったとき大きく作用すると思う。幸い今の所、健康に恵まれているので、ご近所との関わり方、子どもとの関係にできるだけ努力し、老後に備えたいと考えている。行政サービスを利用するすべも身につけておきたい。
6. 公共施設(学校や集会所を含む)に、週一で窓口を開くなどして地域密着でやってほしい。高齢者が足を運びやすい工夫が必要だと思う。聴覚障害があるような高齢者は電話相談がし辛いでしょ、外に出る機会があるのも大切なことだと思う。外に出られないくらいになると、既に介護サービスを受けているでしょ、元気な高齢者を増やすためにも有効だと思う。
7. 今後、高齢者社会を迎えることを考えると、地域包括支援センターは各町に一つずつあることが理想だが、予算的に無理ならば、各町会の中に高齢者支援に関する組織をつくり、市が指針を示し、指導、育成したらどうだろうか。例えば、老人が気軽に集まれる場を町の会館等

を利用して作り、各町会毎にボランティアを募集して、世話や、話し相手をさせたり、気軽に相談ができる窓口を作ったり、老人の一人暮らしや、老人所帯を見守る組織を作るなど、如何だろうか。

8. 相談以前の問題として地域包括支援センターの存在、そのサービスを知っている人がどのくらいいるだろうか？私の例では、自治会に関与するまで皆目しなかったし、関与している今でも詳しく知らないことが多々ある。自治会を通して等の方法でより広く、理解され易い広報活動をしてはいかがですか？また、このアンケートの冒頭に述べられている4つの業務も抽象的で具体的に理解が出来ない。私には包括的・継続的マネジメント、介護予防マネジメントから何ら具体的なイメージがでてこない。加えて、相談窓口の電話番号を出来るだけ多くの人を知るようにするのが先決と思う。
9. 八王子市は広いからサービスを受けている人と受けていない人が偏在しないような配慮が必要と思われる。具体的にどうするのかは分かりませんが。
10. 包括支援センターがどこにあるのか一般市民は知らないのです、もう少し周知できるように、イベント等を開催すべきだと思う。もちろん、そんなにお金をかけてまでやることはありませんが。私自身介護の経験はありませんが、介護をされている方への負担はものすごいものだと思う。相談窓口も気軽に利用できるように、介護されている方へ郵送等でお誘いできるようにするとよいと思う。
11. 高齢者が住みやすく、かつ、介護、サポートする側にとっても負担の少ない対策を考慮して欲しい。
12. 私の住んでいる松が谷地区も他のニュータウンと同様高齢化が進んでいる。しかしながら、ここを担当する地域包括支援センターは堀之内しか無く、また、駅前等にあるわけではないので、利用するのに不便なため、高齢者にとっては行きたくても行って相談することが出来ないという話を聞いたことがある。出来れば、支所から定期送迎バスが出るとか、支所で相談が出来るようになれば利用者も増え、様々な意見が飛び交うことになり広く情報が得られるようになるのではないかと。どうか、ご検討の程、よろしく申し上げます。
13. 設置数や地域の見直しも大事かと思うが、設置されていることのPRやどんな相談に乗ってくれるかを分かりやすく、気軽に相談しやすい環境作りが大切かと思う。また、集合住宅などでは独自にボランティア活動として敷地内で活動されるような支援・協力をもっと積極的にすべきと思う。元気に定年卒業した人達が沢山まわりにはいる、その旗振り・きっかけがあれば結構の人は賛同して参加協力されると思う。
14. 八王子の住民で65歳になった時点で「高齢化社会における市民と市の役割分担」についての講習会を強制的に受けてもらい、現状を把握してもらう制度は作れないものか。また、高齢化社会に対してのボランティア制度をもっと強化して経費の掛からない循環的生活制度の確立を希望する。ボランティア制度の強化も必要ですし、全員参加型の制度を希望する。
15. 私たち夫婦は77歳と72歳だが、お陰さまで、まだ二人とも介護の世話にならずに生活している。これから何時何が起きるか判らない年代なので、心の準備だけはしておかなければと、考えている。そのような時に、先ず一番にどこへ相談したら良いのか、という事を承知していないと慌てるのではないかと。そのような時どこへ行けば良いのかをお教え頂きたいと思う。
16. 広報に地域包括支援センターの活動内容について定期的に詳報を載せてほしい。

17. 高齢者がどんどん増えていくので、ボランティアを募りもっとサービスを格段と増やしてほしい。費用が問題だとは思いますが、若者の義務化と年配者のボランティアで組織して充実拡大が絶対必要だ。そして、日本の中でも特にリーダーになるような模範的な都市としてデモできるような立派な都市になってほしい。
18. センターや窓口があるのは嬉しいですが、最近のニュースなどで、それに対応する方のあり方が問われているのが心配です。人員の確保と対応の教育のようなものを、しっかりしないと、設置数は意味がないと思う。きついことを言ってごめんなさい。
19. 住み慣れた地域で人生を全うしたいのは、当然だと思う。生活を変えることは高齢者にとって順応性の面で負担。家族もそれぞれの生活の為、働かなくてはならず、高齢者の介護、世話には限界がある。地域包括支援センターとの旨い折り合いの付け方で高齢者を見守っていけば、うれしい。
20. なるべく、JRや京王線の駅近くにあるとありがたい。「バス」でしか行けないところは不便である。
21. 相談窓口があっても、混んでいて今日はあきらめて次の日にしようとか、相談したい時に出来ないことがある。思いたった時、相談できる多くの窓口が必要と思っている。
22. 地域包括支援センターが、市内に12か所というのは少なすぎ。55万都市であるのだから20か所程度は必要。高齢化率20%として、11万人。そのうちの介護の必要な人を1割とみても、1万人位がいる。1か所当たりが1千人もいる。支援センターは、地域に生活する何らかの支援を必要とする高齢者等の総合的な相談・支援の窓口である。支援センターは普段から地域とのかかわりを持っていなければならないと思う。そのために、地元にいる民生委員・自治会・町会など地域の高齢者とかかわりのある人々と良好な関係を築き、地域の福祉コミュニティとしてネットワーク化する必要があると思う。
23. そもそも、地域包括支援センターという言葉をきいたのが初めてで、意見というものがなかなかできないが、相談にのってもらえる窓口があるというのは、素晴らしいことだと思う。これは、広報などにも掲載されているのか？今回知ることができたので、何かの折には友人知人等に伝えていきたいと思う。
24. 気軽に相談できるには、優しく、親切、誠実、親身になってくれる熱心な人が必要だと思う。世の中は、そういう人を求めていると思うし、自分もそうありたい。
25. 地域包括支援センターの存在を知らない人もいるので各町会に働きかけて事あるごとにアピールしてゆくことが必要かと思われる。
26. 最近、親の介護でセンターにお世話になった。職員が家に訪問するので、自分の身分、仕事の内容など、詳しく、伝えてほしい。又、センター全体の広報が足りないように思う。
27. 現在、別居している母の介護をしているが、手探り状態で介護をしており、介護会社や市等の様々な援助を受けているものの、正直なところ、手一杯の状態であり、意見を記せるような余裕はない。ただ、介護を受けている高齢者だけではなく、介護を行っている家族等のケアも行える場があったら…と思っている。
28. 今回のテーマに際し、市のHPで老人福祉についての現状をはじめて知った。幸い今まで高齢者介護の経験がなかったため、市が行っている様々な支援・サービスについての情報を得ることができて非常に有益だった。地域包括支援センターは高齢者が増加している中、市内に12か所しかないのは少ないと思う。高齢者本人が気軽に利用できるには自宅から近い

場所になくはならない。私はみなみ野に在住しているが、現在出張所や図書館などを含め、老人でも利用するような公共施設が1か所もない。まだ新しい街であるので早急に整備するのは難しいのかも知れないが、住んでいる地域によってサービスの差ができないように市内にまんべんなく公共施設を設置してほしいと思う。

29. 地域包括支援センターの設置場所など、利用したくても知らない方も多いと思うので、年に一度の年金の通知を送る時に、その方の近くに気軽に相談できる窓口がある事をお知らせする事も大切では…と思う。八王子も高齢者がたいへん多いと聞いている。私は八王子が大好きでし。30年勤めている会社もあと数年で退職です。退職後は健康に気をつけてボランティアに参加させて頂けたらと思っている。意見を書かせて頂きまして！！ありがとうございました。
30. 高齢者が心配事、悩み事を持つと、まず誰かに相談するであろう。家族、知人、友人、ケアマネージャーさんなどが適切であるが、そのような相談相手がいない場合には「地域包括支援センター」という所がある事を知らない人がいると聞いた。その事実を重く考えると「地域包括支援センター」の存在をもっともっとアピールする必要がある。何らかの方法でさらに多くの人に知らしめる事を検討する事が必要と思う。
31. 地域包括支援センターの設置は本当に困っている世帯には心強いと思う。何か、困ったことがあれば行政に頼る体質は考え直す必要があると思われる。困った事が起きたときに、如何対処すれば良いか、当事者が考え、行政に相談し、結論を出せばよいのだが、行政に押し付けることで、解決するのはどうかと思う。隣近所、地域とのコミュニケーションを取り、できる事は解決し、地域包括支援センターは方向性や対策・予防に主体を置いて運営して欲しいと思う。今後、高齢化に伴い色々と困難な問題が多々起きると思う。自分も何時もお世話になるかも知れないが、お世話にならないよう今から注意し予防し努力したいと思う。
32. 高齢者だと支援センターへ行くにも、バスなどを利用してなどと言うのは大変だろうから、なるべくなら歩いて行ける場所にあると良いと思う。ただ高齢者の施設ばかり増やしても仕方がないので乳幼児の支援センターと一体化したものを作って、お互いにプラスになるようなセンターならぜひ数を増やしていただきたい。また、「気軽に相談できる窓口」と言うが、本当に相談したい人というのはなかなかセンターまでは来ないと思うので、高齢者の自宅へ月1で訪問するなど（インターホンを押すだけで終わらせるのではなく、きちんと本人に会って会話する）、積極的に仕事をするべきだと思う。
33. 私の住んでいる場所では、高齢者福祉がどのように対処・対応されているのかわからないのだが、家のまわりは坂道が多く、歩道もガタガタで若い私が歩いていても歩きにくい。その上、大型トラックがすごい速度で横を通り過ぎていく。福祉も大事だが、普段の生活から健康を維持出来るように、生活環境も見直してほしい。
34. 実母が今年63歳になった。高齢者と呼ばれる世代ではまだなかったのが制度についてあまり知識がなかったのだが、今後必要となってくると思うので充実してもらいたいと思う。高齢者が利用できる窓口として、公共交通機関から近い場所・利便性の良い場所にあることが重要であると思う。市の広報等で利用を広く呼び掛けるなど、高齢者の目に入るような告知方法も検討してもらいたいと思う。

35. 高齢者をねらった悪質詐欺事件が後を絶たない。オレオレ詐欺、給付金給付詐欺など。このあたりのトラブルに巻き込まれないような、セミナー開催(高齢者向け)や、訪問時での周知、あやしい電話がなかった?かなどの、訪問時でのチェックなどの施策があるといいと思う。
36. 自分も年齢的に含まれる高齢化社会問題について、いままで無関心でいたことが今回のアンケートに回答するに当たり、市のホームページの「高齢・障害・生活福祉」を閲覧して愕然とした。センターの設置数や担当地域の見直しなどについての意見は、データ等がないと回答できない。問5-1の「地域包括支援センター」の設置数の設問は、国の事業仕訳ではないが、予算面、利用状況などのデータが示されないと回答できない唐突な質問だと思った。行政としては、やはり費用対効果を大切に考えていかなければならない面もあると感じる。
37. 高齢者に対する福祉サービスの現状は理解し評価できる。さらに市としてのナショナルミニマム)の確立が急がれるし、高齢者と同様に児童行政の整備も課題と思う。私は、何よりも民生委員の増員と報酬の確立、地域包括支援センター職員の増員。児童相談所の機能拡大、相談所職員の増員、さらに保育園増設、規制緩和が必要条件です。これは雇用拡大に繋がる。介護事業への助成等々枚挙にいとまがない。
- 市の税収不足に対し、福祉事業への予算増額は極めて難しい問題だと思うがビジョンは強固なものが望まれる。高齢者行方不明と児童虐待は家族、地域、市町村、国の縁、絆の欠如で今こそ地域の助け合い、隣組活動の再構築が必要ではないのではと思う。
38. 駅前や図書館など普段市民が利用する身近な場所に設置すれば市民の関心も深まると思う。
- 介護の問題は決して他人事では済まされない時代になっているので、地域ぐるみで助け合っていければと思う。
39. こういった制度は申請すれば受けられるが、情報を知らない人は全く受けることが出来ない現実があるため、情報の提供をうるさいくらい市制のほうから勧めて欲しい。実際私の親や親戚は皆65歳以上だが、質問の制度については知りませんでした。DM配布などもっと積極的にやるべき。
40. 私自身が勉強と情報不足ということもあるが、地域包括支援センターが近くにあることも知りません。これから少し勉強したいと思っているが、八王子は広いのと入り組んだ町になっているので、なるべく沢山センターがあり、何でも相談できると良いなと思う。
41. 設問とは若干異なるかもしれないが、私は、八王子には転勤で住んでおり、実家(両親)は九州に居る。親との住居が別自治体の場合、出来れば身近な八王子で相談し、支援は九州で受けられればと思いつつ、受け入れられるのか否かわからないため、結局はインターネットで一般事例を探す形となっている。私のようなケースも多いと思うし、逆のケースもあるかと思う。
42. 農家なので母は畑仕事に専念している。それだけでも毎日の充実感はあるようだが同じ高齢者の世代間のことは知らない中で暮らしている気がする。地域とはかかわりのない生活になっていることに不満はないが、高齢者の地域的な情報も知っていてもいいのかなと思うことがあり、身近な地域情報の発信もあっていいのかなと感じている。
43. 数年前私の家の近くに越してきた家族の小学生の女の子と祖母から「嫌な仕打ち」を受け「嫌な思い」をした。その父親の行動と介護施設で働いていることを知り愕然とした。さらに、60代に入って「名前のわからない3軒の家族」に囲まれている。この状況を実感するとは?しばらく

気味が悪かったがいまでは慣れてきたが、違和感を常に感じている。それが当たり前の現実の「コミュニティーの崩壊」と割り切って生活している。現状は「時代が変わった」ときれいな事ではすまない状況。私の老後は、介護施設は選択できるが、ヘルパーの人間性は？地域住民の常識は？高齢者が気軽に何でも相談できる窓口を期待している。

44. 現在、私自身全く必要性がないので具体的には分からないが、相談窓口などあるということは高齢者にとって安心なことと思う。
45. 実際のスタッフの方々の奮闘、高齢者の方の様子などをもっと紹介して、当事者の意識を高め、市民にも知らせてほしい。八王子でも、高齢者への訪問や傾聴などで専門的な知識を要しない部分には、学生さんなど若いボランティアの参加もあると双方にいいのではないか。人間関係なので、一部有償にしたり様子を公開するなど、責任と覚悟をもってやっていただけるようにする必要もあると思う。
46. 本庁の窓口をみていると、かなり多数の市民が相談に訪れているので、より移動が困難な方向けに、きめ細かい地域包括支援センターの設置をできるだけ早く行って欲しい。
47. 介護の仕方等、知らないことやわからないことが多い市民は多いと思う。そしてそれをどうやって誰に尋ねたらいいかわからないでいるという市民も多い筈。私自身も今突然身内を介護する立場になったらきっと混乱すること多いと思う。なので、気軽に相談できる窓口は必要であると思う。と、同時にその窓口に関する情報(どこにあるか、何時から相談できる課など)を市民に届きやすくしてほしい。CM告知するとかちらしを配るとか。せっかく便利な制度があっても知らずにいることが多いと感じている。
48. 高齢者の生活相談に乗ってもらえる地域包括支援センターは、介護する家族にとって、とても頼りになる存在だと思う。私自身はセンターを利用した事がないので具体的には分からないが、八王子市は広いので、センターを増やす場合、設置場所はまんべんなく、また車を運転しない人でも訪れやすい交通の便の良い所につくってもらえればと思う。そして、きめ細かく相談に乗ってもらえるよう、職員の数の充実をお願いする。
49. 常に思うことですが、市役所やお役所という、時間に融通が利かず、サービスを受けるにも手続きが煩雑だったり健常者の私でもめんどくさいと感じることがある。以前、どこかでワンストップサービスというものを失業者にしたところがあったが、ひとつの手続きなのに、あっちにいたり同じ書類を何度もだしたりと、とても利用者の立場にたっていないと感じることがとても多い。ただ、それが「お役所」とあきらめているところもある。高齢者が住みやすく住み慣れた地域で生活するためには、手間はかかるが、相談を待つ、受けるという姿勢ではなく、相談を伺うくらいの気持ちのセンターがたくさんあると未来は明るいと思う。
50. 私自身が住んでいる地域は比較的若い世代が多く、高齢者との関わりが薄く、知らない情報ばかりだった。八王子は坂などが多く、高齢者には不便な部分が多いので、相談できる場所は多いほうがいいと思う。
51. このような良い制度を作ることは、大変結構な事。しかし、その運用の仕方によっては、その制度が生かされない事が多くある。例えばいじめの問題のような、無責任の制度。お互いに責任の擦り合いのようなこと、のない責任ある、利用者が頼りになるセンターにしてほしい。宜しくお願ひします。

52. 南大沢在住のため 南大沢の地域包括支援センターを調べてみましたが立地が悪いと思った。高齢者のための施設ならば駅近の利便性の良いところでないと思うだけでも負担になるのでは・・・と思った。
53. 地域包括支援センターの増設はせず、事業内容の充実強化とそれに伴う専門職員の増員によりセンターの活性化を図り、これまで以上に頼りになるセンター作りを目指してほしいと思う。
54. 私自身地域包括支援センターがあることすら知らなかった。高齢化率は、20.65%という数字に対して市内12か所で多い少ないというよりは何人の要求に対して支給率は幾らなのか何故支給率が低いのが問題になるのではないか。地域や生活環境などの影響もあると思う。
55. 高齢者になれば、要介護者でなくても行政を始め周りの見守りが必要と思う。
通り一片のものではなく温かみのあるサービスを提供できるよう、真剣な検討を望む。往々にして行政サービスは冷たくなりがちであると感じている。
56. 高齢者は、介護や看護の面で複数の困難を抱えている場合がある。
(実際に私の祖母がそうですが、透析+骨折+痴呆)家族がそれぞれの病院に相談して、独自に介護方針を決めていくのはなかなか困難。センターには、対象者の立場で状況を把握し、適当な施設の紹介や専門的なアドバイスを提供できることを期待する。
また、あんしん電話は、65歳以上のひとり暮らし世帯または全員が65歳以上の世帯に限らず、配布することを検討してもいいと思う。
57. 高齢者が今後の身の振り方を思うとき、今、支援を必要とする高齢者は、相談窓口に行く事は容易だが、家族がいて、問題もはっきり見えない状態で窓口に行くのは難しい。今、支援を必要としない高齢者でも、ごく近い将来支援が必要となる方は大勢いる。支援の必要な高齢者の予備軍への対応が重要な課題だ。支援を必要な高齢者だけでなく、予備軍と相談者も含めた集まりの場の構築が望まれる。まず相談員がその中に入り込み、個人対応の必要な段階で窓口対応に移行して行くと言うのが今後の有効な高齢者支援に繋がる道と考える。窓口で相談者を待ちうけるカウンター越しの会話から抜け出す方策が望まれる。
58. 包括センターを利用するのは、近所の人で電話代を節約する人ではないか？高齢者でしたら、車がなかったり、出歩くのが大変な方も多だろうから、すこし遠かったりすると、わからないことがあったりして、質問があったりする場合、電話で聞いたりしますよね？
地域包括センターの詳細がわからなかったので、くらしの便利帳で調べたところ、自分の住んでいる家からは、担当のセンターまで少し距離があったので、高齢者になったとき、わざわざ行かないで、電話で済ませるような気がした。(なにかそこに娯楽施設とか共有スペースがあって、憩いの場になっているのであれば、別ですが。ただの相談窓口でしたらよほど、込み入った相談とか出ない限り電話ですませるとおもいました。)包括センターに、行ったことないので、意見を言うことが出来ないのだが、高齢者が憩えるスペースが身近にあるといいと思う。
59. 地域包括支援センターの業務に高齢者のひとり暮らし又は全員が高齢者の世帯へ見守りの意味も込め、訪問することを加えてはどうか。
60. 自分たちが八王子で安心して年老いていけるために、これらの制度のあることをもっと、広く知らせてほしい。この夏の暑さで家にこもる方は孤立していると思う。すこしでも若いうちに生きがいをもって暮らしていけるように、相談窓口のわかりやすく宣伝してください。
61. 現行の地域包括支援センターの業務内容等を良く承知していなかったが、今回何らかの相談をしたいと言う人は確実に増えると思われる。これに向けて更なる充実した内容で対応出来

る方向で進めておく必要があると考える。今後必要なことは、①地域包括支援センターの存在と業務内容のPR、②自治会、民生委員等との密接な連絡の構築、③個人情報開示につき心配のない信頼性を得ておく必要肝要。個人情報が漏れないよう、センター関係者に徹底する必要がある。

62. 現在、夫71歳、私61歳で、まだ介護保険のお世話なっていませんが、どのような援助が受けられるのか、あまり知識がありません。必要になった時、気軽に相談できる場所があると心強いです。
63. 今回のアンケートで、初めて知ったことがほとんど。私は65歳以上の両親と同居する40代だが、(65歳未満)同居者の有無にかかわらず利用できるようにしてほしい。なぜなら同居していても、仕事などで多忙で丁寧な対応が難しいから。年齢も65歳以上でなくせめて60歳以上にしていきたい。
- 高齢者が一番辛いのは孤独のようである。同世代の仲間づくりや話し相手のボランティアなどもあるとうれしい。
- 気軽に相談できる窓口のあり方をこれからもよりよいものとなるように改善して行ってほしい。
64. 地域包括支援センターの目安設置数は中学校区に1ヶ所とされていることからすると、現在の12ヶ所というのは、とても少なく感じる。これから高齢者の方が増えていくなか、ホームヘルプサービスとも十分な連携が図れるよう、十分な数の設置を希望する。
65. 紙おむつカバーも給付されている事は知らなかった。利用する方にとっては、金額面だけでなく、買いに行く手間が減り助かると思う。かさばる物なので、持ち運びするのも大変な分家族の方の負担軽減になっていると思う。予算の金額についてよく分からないが、例えば、時々「おむつ袋等たりていますか？反対に使う回数が減った物はないですか」と各家庭に呼びかけをすることで、もしかしたら余分にもらいすぎている分がありそこを見直してくれるかもしれない。予算の有効な使い方としてこのような働きかけの結果を活用してはどうか。私は地域包括支援センターを名前しか知らなかったので市のネット(HP)で見たが、担当地域は町名が並んで書かれただけだったので、地図があると理解しやすいと感じた。気軽に相談できるという点では、家族が足を運びやすいところにミニ窓口を設けるのはどうか。郵便局・スーパーなど。民間の場なので難しいと思うが。急に介護が必要となった場合、調べて市役所に自ら連絡を取り支援を聞く事ができる人はいいが、それをしない人にとっても目に入ると思う。
66. 高齢者社会となり、円滑に生活をするために地域ごとに高齢者が気軽に行ける所に支援センターは必要であると思う。
- しかし、残念ながら、その情報が少ない為利用できない方も多いのではないかと。八王子広報には掲載されているので、きちんと読んでいる方は、ご存知の事だろうが、一般紙を購読しない高齢者もいるので情報が平等に知ることのできる社会づくりを希望する。高齢者の多く集まる所に高齢者用のお知らせを貼布できる看板を置くなど考えてほしい。
67. 現在、高齢者の方々のニュースが途絶えないので担当の方が数名～十数名の高齢者の現状(健康状態など)の把握をきちんとできる位人数を確保してほしい。
- お年寄りの方々が生き生きと住みやすい八王子になってほしい。
68. 今、自分のまわりに高齢者がいないからなのか地域包括支援センターなどまったく知らなかった。育児やその他の事もそうだがせっかくよい制度や施設があっても知らなければ、利用できない。施設の数を増やすのもいいが、制度や施設の事をみんなに知ってもらう工夫も必要だと

思う。また、知ろうとする市民の努力も必要だと思う。

69. 地域包括支援センターの設置数は12ヶ所で良いと思うが、どこにあるのか分からない。多分支所にあると思うが、地区の担当業務がわかれば良い。一覧表など一目でわかると便利。病院に入院していて、出るように言われている場合の相談とか専門的な事が聞きたい場合、又高額医療、介護合算制度の相談等色々ある。
70. 高齢者が安心して暮らしていけるように、いい方向へ見直しされるといいと思う。相談の窓口だけでなく、お年寄りに市から定期的に様子見等、連絡出来るようなしくみもあればいいと思う。
71. 街の中に包括センターがなく今は大和田の”ゆうゆう“で町中の町内を受けもっている様だ。もう一ヶ所川の手前に出来たらよいと思う。自転車で町中を走りまわるのは大変だと思う。私はヘルパーをしているので近所の方に祖母のことで相談したいのだけれどどこへ行ったらいいのか聞かれた。父母がお世話になったデーサービスのこともわかるが、この仕事をしてなければきっと私もどこに相談に行くのかわからなかったと思う。地域で出前講座かゴミの説明会の様に介護の相談の仕方や介護申請の仕方とかちょっと相談する窓口とかを教えてくださいませんかがあるとよいと思う。(たとえば近所の集会所やボランティアセンターなど)

72. 高齢者は65歳以上を呼んでいるのか？

実際八王子で高齢者は 20.65%と云われ、52 万の人口で計算すると 10 万人位があてはまるのか。10 万に対し 12 ヶ所の包括センターの数は少なく感じるが、自分の見た事のある支援センターはあくせく働いているという素振はない。支援センターの認知度はどの位で何をしている場所なのか知らない人も沢山いる事だと思う。ネーミングも判りづらいし積極的なPRも感じられない。

せっかく設置されていてもどの位稼働されているのか未知の世界である事だけは確か。自分の回りで支援センターに相談に行くと良くしてもらえた…なんて会話は耳にした事がない。行ってみなよと勧められた事もない。

73. 地域包括支援センターは、市内に12か所設置されていると、アンケートの前文に書かれているが、12 か所とはどこか？説明文を書くのであれば、もう少し丁寧をお願いします。地域包括支援センターや福祉電話という言葉は初めて聞いた。福祉電話とは何かという質問を、市内に住む友人にしたところ、携帯電話のラクラクフォンのことという解答があった。若い世代には、高齢者の為の市が行っている事業は興味が薄い。新聞を受け取っておらず、八王子のケーブルテレビも受信できず、毎日朝から晩まで働いている私たちの世代は、税金だけ納めていて、市からのサービスが受けられないのかと疎外感を感じた。

74. 地域を熟知している町会、町会役員などに相談しながら、地域包括支援センターの設置場所や担当地域の見直しをするのが良いと思う。高齢者自身での来所も難しい状況だと思うし、地域の方々との日頃の交流が重要となり、さまざまな分野のネットワーク作りで、高齢者の日常生活等を理解していくように努めていけば、相談窓口のあり方も見えてくるように思われる。

75. 市内にある相談窓口を増やすのも経費の問題もあると思うので、市民センターや図書館等の人が集まる場所に、ポスターやパンフレットを置いて告知してほしい。また、高齢者が市役所へ行く機会は必ずあると思うので、気軽に相談できる方を配置されたいと思った。

体調がおもわしくない高齢者の方へはサポートが気軽にしてもらえるように、そして、今は元気な方も沢山いるので、そういう方に地域活動に一人でも参加できるような町づくりをしてほしい。

76. 地域包括支援センターについての知識があまり無いのだが、児童相談所のように、虐待に対して何の効果もなかったり、最近の百歳を越えても自治体が把握していなかったりのニュースを考えると、窓口や職員を増やしても税金の無駄になってしまうのではないかという懸念がある。広報で顔写真まで載せて、〇〇町の支援センターの責任者です、位のアピールと意気込みが市の公務員にだって必要だろう。そして、部下達も名刺を持って、一軒一軒、高齢者のお宅を訪問して挨拶すべきだと思う。箱に収まって待っているなんて、それこそ待ったなし。すぐ行動してほしい。
77. 70代の親は、元気で同居せず暮らしている。でもいつ何時、介護が必要になるかわからない。遠く離れているので、私自身何ができるのか不安に思うこともある。地域包括支援センターの存在はとても有難いことだと思っている。今はセンターを訪れたことはなく、どのような活動をされているのか詳しく知らないが、手厚いサービスをお願いしたいと思っている。その為にも設置数や担当地域の見直しは必須であると思う。
78. 老人は健康面、精神面、ストレス等悩みの多い環境の中で弱い立場になっている。友人、相談相手が少なくなる状況下、個人情報保護法の規制をはずしても、話を聞いてもらったりいろいろ相談出来る環境を整える必要があると思う。
是非前向きに検討ください。よろしく願いいたします。
79. 高齢者については、移動も大変だと思うので近くにある方が良いと思う。たとえば、相談できても、その後の実質的な支援もセットでないとかえってストレスになると思う。料理とかも大変だろうから、街として、くまなく発展することも大切だと思う。老いは平等に訪れるものであり、なるべく皆が同じように受けられるところにお金をかけるべきだと思う。今後独身の高齢者も増えると思うので、そういう人達への配慮が必要だと思う。マップのようなものを配布すると、利用者にも分かりやすいと思いました。
80. 「地域包括支援センター」たるものをもっとコマーシャルして欲しい。どんなことをしているのか。どのようなときに行って相談するのか。そして市内の何処にあるのか。休日はいつか等々。
81. 地域包括支援センターは、その地域の人達のみ利用できるのか？又人口割で設置されているのか？高齢者の仲間入りをした私自身、遠く離れている場所にあるので、利用しづらい。これがいつも人の多く集まるスーパーの一角か、幹線道路沿いバス停近くにあると何かと便利だなと思う。そして地域包括支援センターというあまり馴染みのない言葉を知らない人が多い。町会の回覧や老人会の集まり等積極的にPRし身近な相談窓口だと知らせて欲しい。
82. 身近に支援が必要な者がいないため、地域包括支援センターについてはほとんど知らなかった。今後は自分達もお世話になると思うので同センターの活動に注目していきたいと思う。
83. 高齢者の孤独死、特に死後そのまま放置され生存していると周囲が気付かない昨今のニュースを聞いていると、まだまだ行政が形だけだと思われるも仕方ないような気がする。隣の人は何する人ぞではないけれど、地域ぐるみで守っていけるような社会にならなければいけないと思う。特に最近、高齢者の独居が増えているなかで、民生委員的な人をもっと増やして、仲間ある生き方生活を全うできないものか。
84. 気軽に相談できる窓口があれば良いと思う。又現在居住している地域の自治会の中に支援チームを作る動きがあり、市の組織との連携が取られると良いと思われる。